

## 首相の改憲発言は憲法違反

無職

(富山県 72)

憲法施行70年を迎えた日。改憲を訴えた安倍晋三首相のビデオメッセージは、首相の立場を逸脱した発言に見えた。現役の首相が、改憲する条項や改憲後の施行年まで具体的に表明するのは、これが初めてだろう。いくら「自民党総裁の立場で」といっても、首相であることに変わりはない。

そもそも改憲は、衆参両院によって発議する。首相がそれらを飛び越えて、改憲を促す発言をするのはいかなるものかと考える。首相の役割は、憲法に従って政治を行うことだ。不具合な憲法と感じ

られても、従って政治を行うのが立憲主義の国の首相だろう。

行政府の長たる首相が、憲法審査会という立法府の審議に介入することは、三権分立を定めた憲法に違反する。首相の立場を利用して改憲を促すことは、独裁政治の始まりではないか。それとも、私たち国民は安倍一強政治の下におかれて慣らされ、独裁にただ気付かないだけなのか。

首相のこの発言が多方面に影響することを危惧する。まさか教育現場でも、首相発言を受けて「付度」し、現憲法を軽んじるような教育をすることはないと信ずるが、やはり心配である。